

# 第3回 生見尾踏切安全対策検討会

## 次 第

### 1 日 時

平成26年3月26日（水） 午後7時～

### 2 場 所

岸谷会館 鶴見区岸谷1丁目26-16

### 3 議 事

- (1) 第2回検討会（1月21日）の議事内容について
- (2) 生見尾踏切の安全対策に関する説明会（2月22日）の報告
- (3) 概略4ルート案の検討結果について
- (4) 概略検討図の提案
- (5) 意見交換
- (6) その他

# 生見尾踏切安全対策に関する横浜市のお考え方

## 1 整備方針（案）

- 測量、地質調査の結果から、踏切を残す①案、②案、③案、②案の変形案（貨物線の間を活用）、③案の変形案（③案＋斜め接続）については、北側は用地取得が必要であり、南側は構造物の築造ができないことが分かったため、④案で検討しました。
- ④案で踏切を残すためには、北側、南側双方の用地取得が必要となりますが、用地取得が現段階では難しいことから、踏切を残すことができません。このため、用地取得は行わず、JR 用地及び道路用地を活用することにより、踏切の直上にこ線人道橋を整備し、別紙（完成イメージ）のとおり進めていきます。
- 踏切の廃止に伴い、自動車の転回スペースが必要となった場合は、アーケードをリニューアルさせていただきますようお願いいたします。
- 平成 26 年度に設計を行い、地元の方々のご理解を得て順調に工事が進んだ場合、設計完了後、約 2 年程度で工事の完了を目指していきます。
- 自動車については、ご不便をおかけしますが、工事完了後は、岸谷生麦線を代替ルートとして活用させていただきますようお願いいたします。
- 商店街、地域の連続性を、できる限り確保できるこ線人道橋を計画していきます。
- 津波避難にも活用できるようできるだけ幅の広いこ線人道橋を計画していきます。
- ガードマンについては、設計の実施に合わせて JR と調整を行い、配置の拡充について検討していきます。

## 2 今後の進め方

- アーケードのリニューアルや商店街、地域の連続性については、商店街等の方々と話し合いを継続させていただきますようお願いいたします。

# 新設 生見尾こ線人道橋の完成イメージ（概略検討図）

←横浜方面



現在のこ線人道橋

鶴見方面→

横須賀線

京浜東北線

東海道線

貨物線

貨物線

京浜急行線

生麦駅

完成イメージは、現時点における想定図であり、今後、  
設計を進めるに当たり、変更することがあります。